

# 平成28年度 森の名手・名人認定証伝達式

～平成28年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました～

平成28年度森の名手・名人に認定された県内の2名に対し、公益社団法人国土緑化推進機構から届いた認定証が10月24日、公益社団法人岐阜県緑化推進委員会会長の矢島 成剛 岐阜県議会議長から伝達されました。



左から矢島会長、小椋さん、長野さん、瀬上岐阜県林政部長

## 平成28年度現在の認定状況

全国の認定者数 1,258名  
(本年度63名)

岐阜県の認定者数 47名  
(本年度2名)

※岐阜県の認定者数は、愛媛県56名、長野県53名に次いで全国第3位となっています。

## 今年度認定された森の名手・名人

森づくり部門 (林業(作業道開設等)) ながの みつる 長野 満さん(本巣市)

今までに、110路線、100kmの作業道を開設し、現地踏査から補助金申請、バックホウオペレーターまでをこなす、道づくりのスペシャリストです。長野さんの道づくりの流儀は、①森林所有者の思いを一番大切に ②所有者にも会社にも利益になること ③創意工夫を重ねることで、これらを基本に、災害に強い道づくりを実行されています。



加工部門 (木地師) おぐら どういち 小椋 東一さん(中津川市)

実父から承継した林業技術により、鋸や斧を使ってロクロ挽きの材料となる樹木(トチノキやハリギリ等)を伐採し、「フシ抜き」「木取り」、斧を使って茶びつ等の内側をくり抜くなど、日本古来の手作業による技術を駆使して、作品を作り上げることができます。また、次世代を担う木地師への技術指導にも力を注ぎ、後継者育成に努められています。

